

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当第 3 四半期末の資産、負債及び株主資本の状況

・総資産	1 兆 1,362 億 48 百万円	(前期末比	21.5%増)
・株主資本	6,354 億 43 百万円	(同	11.3%減)
・株主資本比率	55.9%	(同	20.7 ポイント減)

当第 3 四半期末の資産は、前期末と比較して現金及び現金同等物が 111 億 2 百万円、たな卸資産が 392 億 43 百万円、有形固定資産が 887 億 32 百万円及びその他の資産が 728 億 44 百万円それぞれ増加した一方、売上債権が 136 億 36 百万円及び投資が 130 億 61 百万円それぞれ減少し、資産は前期末と比較して 2,007 億 15 百万円増加しました。

負債は、前期末と比較して短期借入債務が 2,243 億 19 百万円、一年以内返済予定の長期借入債務が 171 億 79 百万円、長期借入債務が 70 億 11 百万円及び未払退職年金費用が 235 億 41 百万円それぞれ増加したことにより、負債は前期末と比較して 2,770 億 64 百万円増加しました。短期借入債務の増加は、主として EPCOS AG の株式取得に伴う資金調達によるものです。

株主資本は、前期末と比較してその他の利益剰余金が 216 億 65 百万円及びその他の包括利益(△損失)累計額が 610 億 26 百万円それぞれ減少したため、株主資本は前期末と比較して 811 億 34 百万円減少しました。

(2) 当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	前第 3 四半期 連結累計期間	当第 3 四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,071	51,472	△17,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99,546	△ 220,766	△121,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 55,800	198,864	254,664
為替変動による現金及び 現金同等物への影響額	△ 4,039	△ 18,468	△14,429
現金及び現金同等物の増加(△減少)	△ 90,314	11,102	101,416
現金及び現金同等物の期首残高	289,169	166,105	△123,064
現金及び現金同等物の四半期末残高	198,855	177,207	△21,648

- * 営業活動によって得たキャッシュ・フローは、前年同期比 175 億 99 百万円減少し 514 億 72 百万円となりました。当第 3 四半期連結累計期間は市況悪化などの影響もあり、24 億 49 百万円の四半期純損失となり、キャッシュ・フロー減少の主因となりました。減価償却費は 104 億 93 百万円増の 611 億 89 百万円となりました。資産負債の増減において、売上債権が 531 億 71 百万円、たな卸資産が 24 億 24 百万円、仕入債務が 357 億 37 百万円、未払費用等が 72 億 73 百万円それぞれ減少しております。
- * 投資活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同期比 1,212 億 20 百万円増加し 2,207 億 66 百万円となりました。固定資産の取得の増加 279 億 41 百万円、短期投資の売却及び償還の減少 240 億 53 百万円、子会社の取得の増加 1,134 億 28 百万円がそれぞれ増加要因となっている一方、短期投資の取得の減少 178 億 54 百万円、有価証券の売却及び償還の増加 33 億 10 百万円、有価証券の取得の減少 71 億 87 百万円がそれぞれ減少要因となっております。

- ＊ 財務活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同期の支出から当第 3 四半期連結累計期間は収入に転じ、その変動額は 2,546 億 64 百万円となりました。前年同期は自己株式の取得に係る支出 392 億 47 百万円に加え、配当金の支払 156 億 83 百万円等で 558 億円の支出でしたが、当第 3 四半期連結累計期間においては、主として EPCOS AG の株式取得目的で資金調達を行ったことによる短期借入債務の増減(純額)に係る 2,180 億 40 百万円の収入に対し、配当金の支払 180 億 56 百万円等で 1,988 億 64 百万円の収入となっております。